

## ○教育セミナー

「初学者のための中医学入門講座(2)」～中医学の魅力—総合性と専門性の発揮～

学校法人後藤学園中医学研究所所長 兵頭 明

### 【抄録】

自然治癒力、抵抗力、免疫力、ホメオスタシスといった一人ひとりが持っている力を、中医学では「正気（せいき）の力」と称しています。この力は体のどこから生まれてくるのでしょうか。私たち、一人ひとりがもっているパワーの秘密、元気の秘訣を一緒にさぐってみましょう。また、人の成長・発育・老化の秘密、美容の秘訣、健康法の神髄、ストレスとの接しかた、ダイエットの落とし穴、認知症の予防と認知症の症状の改善といったさまざまなテーマについて、今日は中医学の考え方にもとづいて一括分析し、その解決法について一緒にさぐってみましょう。

この中医学の考え方にもとづいてご自身やまわりの人たちの生活を見つめなおしてみたときに、健康管理のありかた、体調管理のありかた、病気との接しかたなどの健康サポートについても、きっと新たな気づきと発見があることでしょう。人が本来もっている力を大切にする老若男女すべての人にやさしい医学、それが中医学の考え方なのです。ところで鍼灸マッサージは、心と身体に対して同時に治療やサポートができる専門職種です。この考え方により認知症の方々をサポートした鍼灸治療の最新データも紹介する予定です。

中医学は弁証論治の考え方と方法論がとても魅力的ですが、最初から雑病科（なんでも科）としてやるのではなく、3つくらいのテーマに絞ってやっていけば結果を出しやすいでしょう。特に社会的ニーズの高いテーマに絞るのがよいでしょう。たとえばメンタルヘルス・美容・生活習慣病・認知症などが挙げられます。これらを個別のテーマごとにやっていくと、そのうちこれらが連動していることが見えてくるはずですが、全部一緒にやろうとするのではなくて、まずテーマごとに掘り下げてやってみることで。

現在およびこれからの社会的背景、時代的ニーズを鑑みれば、これからは中医学の考え方が今まで以上に必要とされる時代に突入いたします。健康、美容、スポーツの分野、生活習慣病、高齢化問題、認知症対策、企業のストレス対策などなど、今まさに多くの領域で心身一如の観点、そして統一体観にもとづく中医学の考え方とスキルが必要とされているのです。上記のテーマを1つずつ展開するのもいいでしょうし、連動させて展開するのもいいでしょう。でも、なんととってもこれらの多くのテーマを連動させて幅広く展開できるのが中医学の大きな魅力だということに今日は気づかれることでしょう。これからの時代は中医学の統一体観に導かれた全人的・総合的そして継続的な観点にたった専門性がいっそう必要とされるのです。

## 略歴

### ◇現職

1984年～現在：学校法人後藤学園ライフエンス総研 中医学研究所所長

1990年～現在：筑波大学 理療科教員養成施設非常勤講師、

1999年～現在：天津中医薬大学客員教授

2010年～現在：一般社団法人日本中医学会 理事

2010年～現在：一般社団法人老人病研究会 常務理事

◇主要業績

・2015年度、2016年度文部科学省委託事業

－成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業－

『認知症の人およびそのご家族を支えるための西洋医学系・介護福祉系・鍼灸医学系

3分野連携型モデル教材、DVD教材』の開発